

# 令和5年度 第10回 江南区自治協議会

日時：令和6年1月25日（木）午後1時半～

会場：江南区役所3階 302会議室

## 1. 開会

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和5年度10回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

（資料確認）

### ○渡邊地域総務課長補佐

本日の会議について、齋藤委員、上田委員、茂木委員、堀川委員から欠席のご報告をいただいております。

## 2. 会長あいさつ

### ○渡邊地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、中野会長からご挨拶お願いいたします。

（会長あいさつ）

### ○渡邊地域総務課長補佐

次に議題に入りますが、ここからの進行は中野会長にお願いいたします。

## 3. 報告

### (1) 令和6年度能登半島地震の被害状況等について

#### ○中野会長

それでは、次第に沿って進めてまいります。いつものように、ご意見のある方は挙手のうえ簡潔明瞭にお願いいたします。

はじめに、3. 報告からまいります。(1)「令和6年能登半島地震の被害状

況等について」、区長より説明をお願いいたします。

## ○坂井区長

遅ればせながらですが、明けましておめでとうございます。あまりおめでたい気持ちにもなれないお正月だったと思いますが、今年もどうぞよろしくをお願いいたします。

はじめに、元旦に発生しました令和 6 年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今日は、区内の被害状況などを中心に報告させていただきたいと思っております。まず、資料 1-1 をご覧いただけますでしょうか。江南区の被害状況、速報値となっております。

まず、人的被害ですけれども、軽傷者の方が 2 名出ております。何かと申しますと、お二人とも避難された方なのですけれども、避難所で転倒されたり持病が悪くなってしまったりという方がお二人出ました。

建物被害ですけれども、全壊は今のところゼロ、半壊が 39 棟、一部損壊が 65 棟ということで、今、災害時において補償の大本となる、り災証明の受付をしているのですけれども、今現在、700 件以上、江南区でり災証明の申請を受けているところです。その内、確認が取れているのがこのような状況になっているとご理解いただければと思います。②にり災証明が 769 件と出ておまして、今、調査が、市の職員、県からの行政職員の皆さん、お手伝いに来ていただいていますし、山形ですとか秋田のほうからも職員が手伝いに来ていただきまして、早急に調査を進めている段階です。

道路の被害状況、国県道 1 道路と市道は 21 路線あったのですけれども、すべてこちらは発災 1 週間程度で復旧しております。

学校につきましても、今、調査した段階では被害 10 校で、特に曾野木小学校は、曾野木地域が液状化しましたので、グラウンドが陥没したりということで、大きな被害が出ているということです。

同じく、公共施設についても、曾野木のことぶき保育園が同じように液状化しまして、園庭に穴が空いたり駐車場に入れなかったりということがありまして、一時、三日ほどでしょうか、曾野木地区公民館で代替保育をやらせていただいたのですけれども、これも 1 月 9 日からは元どおり、ことぶき保育園で保育を始めたということです。

また、曾野木地区連絡所の建物ですが、あそこは天野の真ん中で、液状化

しまして、入口のところに段差ができてしまったような状況で、少し工事をしなければいけないかなと。駐車場も液状化してしまったので、一部使えないという状況が出ております。

それで、避難所開設状況なのですが、これは発災直後の数字です。区内に30か所の避難所があるのですが、その内21か所を開設いたしまして、最大で2,100名の方が避難されておりました。これは2日の午後には皆さんお家に帰られまして、避難所を閉じるという状況です。

液状化なのですが、やはり、先ほど会長のお話がありましたとおり、曾野木地区が大変被害が大きくて、発災当初から、地域の人たちが皆さんで土嚢袋に土を入れていただいて、今は回収が済んでいるという状況です。

曾野木だけではなくて、両川の酒屋商店街のほうも、お店のガラスが割れたりというものが複数、瓦が落ちたりといった被害が出ております。大江山や横越のほうはそれほど大きな被害はなかったと伺っておりまして、そこは安心しております。

次に、資料1-2をご覧くださいと思います。こちらは現在の支援の状況です。江南区におきましては、昨日から曾野木地区公民館を総合相談窓口としまして開設しております。そちらでは、今、真ん中の四角囲みですが、けれども、まず、り災証明書ができましたという案内が行きますので、それを持ってきていただきますと、窓口でり災証明書を交付しまして、それに附随する各種申請をご案内するという流れになっております。

裏面を見ていただきますと、各種支援制度がまとまったものになりまして、り災証明の判定結果に基づきまして、こういった支援が受けられるという一覧表になっております。ここは土日もやっておりまして、昨日開けまして、昨日、8件の方がいらっしゃっているとお聞きしています。やはり、土日にお客様が集中するのかなと思っておりまして、そこに向けて対策を準備している状況です。り災証明も次々、り災証明ができたという通知が、お待たせしているかもしれませんが、必ず届いていると思いますので、その通知をご覧くださいまして、窓口にお越しいただきたいと思っております。

簡単ですが、私からの説明は以上です。

今、市役所全庁を上げて、まずは災害復旧に取り組んでいるところです。いろいろ皆様方にもご迷惑ですとかご不便をおかけする面があるかもしれませんが、どうぞご理解、ご協力いただきまして、1日も早い復旧に向

けて全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

#### ○中野会長

ありがとうございました。

このことについて、ご質問はありますか。

#### ○清野委員

質問ではないのですが、私ども社会福祉協議会として、少し報告させていただきます。いつもお世話になっております。

今、区長から全体のお話がありましたけれども、その中で、天野地区ということで、液状化の話がありました。私ども社協としましても、テレビ、報道等で承知かと思いますが、1月3日に西区社協、ご承知のとおり西区や善久のほうで、やはり被害があったということで立ち上げまして、その後、私ども、区社協として行政、それから本部社協といろいろ協議いたしまして、被害は天野地区であったのですけれども、敢えて災害ボランティアセンターを立ち上げないという決定をいたしまして、その後、私ども社協の会長副会長会議も開催いたしまして、通常のボランティアセンターの活動の中で拡充して対応するということを決定いたしました。

その後、1月、もちろんニーズ調査を行ったわけですが、1月13日に、総勢47名ということで、栃木県足利市からボランティアに来ていただきました。それと、ここにおいでの方の皆さんからもお手伝い、上村委員や山本委員からお手伝いいただきまして、大変ありがとうございました。その中で、区の職員、区社協の職員で総勢、やりまして、一応、終わったという形になっております。

個人的に、またその後、ご依頼ありまして、昨日ですけれども、曾野木の民生委員、それから商工会議所青年部の皆さん、それから職員のほうで、泥上げといたしまししょうか、家屋の砂出し活動を行ったということで、一応、その建物は完了したということです。

今後何かあれば、また私ども協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### ○中野会長

ありがとうございました。その節は本当に大変お世話になりました。今回、江南区のボランティアセンターを立ち上げないということで、西区のボラン

ティアセンターのご厚意と江南区社協のご厚意で、西区のボランティアセンターに登録された方、栃木の方から自治体に、天野地区の土砂を土嚢袋に詰めるという、とても大変な作業、午後から雪も降る中、やっていただきました。本当にありがとうございました。

#### ○天野委員

亀田西小学校区コミュニティ協議会の天野です。

資料 1-1 の 2 番で、避難所開設という状況で出ているのですが、どこだったか、新聞報道だったかで、避難所の入口ですごいトラブル、何で入れてくれないのだとかというのがあったのですが、江南区では、そういうことはなかったのでしょうか。

#### ○坂井区長

ありがとうございます。入れないというトラブルに関しては、避難所指揮の指名職員が各避難所で決まっています、その職員が鍵を持っているのですけれども、あの日は元旦で、やはり、新潟にいなかったという方もいらっしゃるのでは、鍵が開くのに時間がかかったというお話はいただいていた。そこは全市的な課題として本部でも認識しておりますので、今後、来年度に向けた予算要求ですとか、そういったところに向けて解決策が提案されてくるものと考えております。

大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

#### ○天野委員

ありがとうございました。

#### ○豊嶋委員

豊嶋です。

今のものに関連してなのですけれども、上所小学校の件だと思うのです。それ以外にも、けっこういろいろなものがあったと思います。それで、お願いしたいのは、いろいろなことがあって、今後生かすために、今は少しばたばたしているので、当然、本局の危機管理防災局ですか、その辺でやると思うのですけれども、今回あったできごとを通して、2 階に入れなかったとか、区の職員の参集が悪かったとか、いろいろな問題があると思うのです。その辺を整理して、また自治会に下ろしていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

#### ○坂井区長

ありがとうございます。私もあいさつで言い忘れたのですけれども、ぜひ、我々も皆さんもそうですが、記憶の新しい内に、これについてしっかり検証しまして、次の施策なり対策に生かしていきたいと思いますので、その節はご協力のほど、ぜひ、お願いいたします。ありがとうございます。

#### ○田村委員

半壊の部分で、私も半壊にこんな何種類もあるというのは分からなかったのですけれども、俗に言う、危険だから入っちゃだめという赤紙を貼るようなのですけれども、赤紙が貼られるのは半壊辺りからなのでしょうか。どの辺から普通には。分かれば教えていただければと思います。

#### ○坂井区長

赤紙は本当に発災した直後、り災証明ではなくて、本当に住んでいて大丈夫なのかと確認するためのものだったのです。り災証明はそれとはもう少し、落ちついてではないのですけれども、違うものをご理解いただけたらと思います。

#### ○田村委員

ありがとうございます。

#### ○上村委員

曾野木地区コミュニティ協議会の上村です。

ちょうど私の住んでいる自治会が足利市のボランティアに来ていただいた自治会でしたので、13日もかかわらせていただきました。この状況を見聞きしたところをお話しさせていただければと思います。

やはり、お家が傾いたところもかなりありまして、けっこうご高齢の方のお宅が多いので、体調を崩されている方も増えてきていますし、日を追うごとに、やはり、少しずつ、雨などが降ると泥がまたそこに出てきて、また泥をかき出さなければいけなかったりとか、そういったところで、ご高齢なのでまた体調を崩されたりということが、ここのところ見えてきております。お家のこともそうなのですけれども、何かしら体調面の配慮も市や区からしていただけるとありがたいと思います。ありがとうございました。

#### ○坂井区長

ありがとうございます。保健師が江南区各所におりますので、ご相談いただければ、対応させていただきます。

#### ○上村委員

もう一ついいですか。住居、例えば、かなり傾いて、住むのが辛いとなったときの、市営住宅だとかそういった空きのところに入れたりといった支援等がありますか。

**○坂井区長**

今、相談窓口の中で、市営住宅の入居相談ですとか、裏面の 5、6 の辺り、借り上げ住宅への入居などの相談も承っておりますので、役所にご相談いただければと思います。

**○上村委員**

ありがとうございます。

**○石井委員**

亀田東小学校区コミュニティ協議会の石井です。よろしくお願いします。

今、避難所開設条件ということで、開設数 21 か所ということだったのですけれども、参考に、21 か所全部の箇所では避難の方は実際に来られたのでしょうか。

**○事務局**

28、準備していました。

**○坂井区長**

28 準備して、21 か所に来られたと。

**○石井委員**

分かりました。ありがとうございます。21 か所ということで。

**○樋浦委員**

江南区民生委員児童委員連絡協議会の樋浦です。私は今、民生委員なので、当日、民生委員でどのように動いたかということをお話しさせていただきます。

区長からご案内があったように、大江山地区は、大きな被害はありませんでした。ただ、大きい揺れでしたので、揺れが収まって少し落ちついてから、当大江山地区民児協は、委員同士で連絡網としてグループ LINE を持っています。ガラケーの方もいますので全員ではないのですが、ほぼほぼグループ LINE で連絡網が対応できています。

それで、私は会長になりましたので、落ちついた時点で、グループ LINE で委員の皆さんに、災害時に要援護者登録している方を把握されているかと思うので、もし本当に近所であれば訪ねていただいてもいいのですが、

電話連絡でも何でもいいので、気になる方のところは安否確認をしてくださいということ、あと、状況ですね、被害はないかもしれないけれども、高齢者の方でどのような対応をしていいのか分からずに不安でいられる方もいると思うので、そのところを、今の江南区の状況はこうですということをおのほうで整理したものを流して、説明していただくように対応しました。

それで、これはやはり、通常のメンバー同士のいろいろなやり取りのための連絡網ではあったのですけれども、とても役に立ったなという感じがありました。それで、委員の皆さんも、今行ってきましたとか、電話連絡で大丈夫ですということでありましたし、実際に、高齢者の一人暮らしの方で、その方の家に行って状況を説明したことによって、その方はそれが分からないで不安であった、避難してくださいというようにテレビ報道は言っているけれども、自分の中ではそれが江南区までしか分からないから、自分が避難していいのかわからないから分らなかったということがあって、今、曾野木地区に避難指示が出ているので、もう少し様子を見てくださいということで、そのような案内もできました。民生委員に限らず、皆さんいろいろなところに所属して、いざというときは初動対応があると思うのですが、まずは、その連絡網はかなり有効です。

それから、自治協議会の中でも何回かご案内があった、いろいろな情報の入れ方です。私は新潟市の LINE にアクセスしたのですけれども、すべて情報が飛んできましたので、こういったものも、もし、何かの自治会とかいろいろなところでは、そのところをまず備えておくということが必要であるとおつくづく感じたというのが私からの意見です。よろしく願いいたします。

## ○中野会長

ありがとうございます。

今日、皆様からいろいろなお話がありましたけれども、それぞれ母体に戻って、こういったお話が出たことを必ず報告していただいて、次に向けてどういうことをしたらいいのかということをお話し合っていたきたいと思います。よろしく願いいたします。

では、ほかになれば、次の議題にまいります。

## (2) 新潟ハーフマラソン 2024 への協力について

### ○中野会長



次に、(2)「新潟ハーフマラソン 2024 への協力について」になります。

私から説明させていただきます。資料 2 をご覧ください。新潟ハーフマラソンはコースの大半が江南区を走ることから、これまでも、江南区自治協議会としてゴール付近に自治協議会専用のブースを設置し、大会を支援・協力してまいりました。自治協議会専用ブースにおいては、ドリンクの提供、フォトスポットの設置などを有志の自治協議会委員の皆様から協力していただいて、江南区の魅力を PR させていただいています。

今回も、皆様のほうにも参加できる、できないのご案内があると思いますけれども、今年度は 3 月 20 日、祝日に開催される予定ですので、ご協力いただく時間は、少し朝早いですが、午前 7 時半から午後 1 時の予定としております。

内容は、昨年と同様、ドリンク提供やフォトスポットを設置します。本日の部会終了までに、事務局へ出欠票のご提出をお願いしたいと思います。

ちなみに、長丁場ですので、もし、どうしても早めに帰りたいという方、いらっしゃるかもしれませんが、協力いただける時間まででもけっこうですので、ぜひ、お願いしたいと思います。たくさんの方からご協力をよろしくお願いいたします。

### (3) 江南区自治協議会各部会の報告について

#### ○中野会長

では、次、次第 4 の報告に移ります。

はじめに (1)「各部会の報告について」ご報告をお願いいたします。

では、まちづくり部会の田村部会長、お願いいたします。

#### ○田村委員

まちづくり部会です。

まちづくり部会については、今、両川の図を作っている最中です。それで、先回は、一応、マップのたたき台的なものを印刷していただきましたので、それでもって意見交換したということです。3 月中の納品を目指して、次回の部会、今回ですけれども、皆さん方から最終的な意見をお伺いして修正していくことになろうかと思えます。

主な意見としては、両川の歴史の部分で、耕地整理事業による大型ほ場化を紹介、これは天皇陛下も来られたということですのでけれども、嘉瀬ライスセ

ンター、実際にはもうないのですけれども、天皇陛下が来たという記念碑があるということで、そういうものを取り上げてもいいのではないかとということと、公園を紹介するときに、遊具とかバーベキュー広場とかそういったものを載せたほうがいいのではないかと意見もありました。

それから、マップに掲載する写真は、今回、両川地区はお寺とかお宮が多いのですけれども、お寺の建物をとんとんと載せてもみんな同じように見えてしまうので、そのお寺の特徴的なものを載せていったほうがいいのではないかと意見がありました。

それから、二つ目として、亀田排水路公園について、お話がありました。亀田排水路公園は、亀田の大月から城山のほうまで3キロくらいあるところですが、整備が終わってから20年近くがたっていて、老朽化が進んでいると。特に、亀田市民会館から弥生橋、亀田駅前通の区間が最初にできたところですが、そこが亀田排水路を思い出させるためにせせらぎが流れているのですけれども、それをポンプアップする機械などがかなり傷んでいるということで、今後どうするかということで、提案があったということです。

春ごろ、部会で現地確認を行って、アイデアを皆さんから伺って区に伝える予定にしているところです。

まちづくり部会からは、以上です。

#### ○中野会長

ありがとうございました。

次に、安心安全部会の石澤部会長、お願いいたします。

#### ○石澤委員

安心安全部会です。

はじめに、江南区支え合いのしくみづくり会議の構成員の推薦について、安心安全部会から本間委員を選出いたしました。

次に、パパママ銭湯の実施に向けて、意見交換を行いました。主な意見としては、参加者アンケートに子育てに関する質問を入れたほうがよい。参加募集のほか、実施後にも事業の広報を行ったほうがよいといったものがありました。また、参加者に自治協議会の広報を行ったほうがよいという意見もありまして、昨年8月6日に発行されました江南区自治協議会通信を配布することにしました。

1月19日にパパママ銭湯の第1回目が開催されましたので、本日は、その振り返りを行います。

次に、防災に関する提案事業について意見交換を行い、実施会場を亀田西中学校にすることと決定しました。

主な意見としては、中学生にはジュニアレスキュー隊育成講習会で習ったことをアウトプットできる方法で参加してもらうのがよいのではないかと。自主防災組織の育成に重きを置き、イベントやゲームはプラスアルファの要素として考えるべきではないかと。防災訓練が手軽に実施できることを伝えたい。本物の消火器を使用したらどうかなどがありました。

本日の部会では、実施内容の検討と併せまして、今後作成するグッズについて、意見交換を行います。

安心安全部会からは、以上です。

#### ○中野会長

ありがとうございました。

次に、環境・教育部会の渡邊部会長、お願いいたします。

#### ○渡邊委員

よろしくお願いします。環境・教育部会について報告させていただきます。

環境・教育部会は、スポ GOMI 大会の開催概要を基に振り返りをいたしました。

各委員からは、ゴミの計量の際の工夫や、アンケートの質問項目など、活発な意見交換が行われました。

来年度の事業については、スポ GOMI 大会は環境美化につながる活動でもあり、参加者の満足度も高かったことから、引き続き来年度もスポ GOMI 大会を開催することといたしました。これまで、横越、曾野木、亀田西中学校校区で開催いたしましたので、次回は大江山地区を候補地として検討していくことといたしまして、コミ協に相談することといたしました。本日は、来年度のスポ GOMI 大会の開催について、意見交換を行いたいと思います。

私からは、以上です。

#### ○中野会長

ありがとうございました。

では、次に、広報紙発行特別部会、上村部会長、お願いいたします。

#### ○上村委員

1月9日火曜日に開催した第4回広報紙発行特別部会について、ご報告いたします。

今回は、事務局が作成した紙面を基に校正を行いました。内容について、自治協議会の認知度を高める目的で、前の号に引き続き、自治協議会の役割や地域コミュニティ協議会との違いを掲載しました。また、江南区魅力スポット探訪と題し、自治協議会委員が江南区の魅力を紹介する記事も作成いたしました。

今回は、皆さんの身近な物事を支えている2社として、鉄道の安全運行を支えている第一建設工業の研修センターと、牛乳で新潟市の学校給食を支えている塚田牛乳を取材し、紙面にまとめました。

今回の記事は1月21日発行の区だより1面に掲載されましたので、ご覧ください。

私からは、以上です。

#### ○中野会長

ありがとうございました。

個人的には、この広報紙、とても見やすく、子どもが読んでも楽しいみたいな内容だったので、見やすくよかったなと思いました。ありがとうございます。

以上、各部会からの報告がありましたが、このことについて、質問等がありますか。

なければ、議題、報告については以上となりますが、全体を通して、何かありませんか。それぞれのコミュニティ協議会からのイベントなど、お伝えしたいことがあれば、この場でお願いしたいと思います。

よろしいですか。

少し早いですが、おととい、区自治協議会会長会議がありまして、来年度の自治協議会の全体会議研修会のことについての話し合いがありました。具体的な日にちはまだなのですけれども、今回は、災害が起きたことによって、いろいろなテーマを用意はしていたのですけれども、各区の会長たちも同じ意見で、来年度の研修は防災に特化した研修を行いたいという意見がまとまりました。

一応、日程的には5月ごろを予定しております。例年、少し遅いのですけれども、来年度は少し早めに行うということで、防災に特化した内容で自治

協議会全体研修を行うということで、一応、意見がまとまりました。時期が来ましたらご案内があると思いますけれども、ぜひ、また皆さん、参加していただければと思います。

ほかに、皆さんからありませんか。

### ○小野（直）委員

小野です。

今ほどの震災の件で、私が追加して、商工会の各消防団の分団長として活動しましたので、若干、補足させていただきます。

当日、両川分団が今、156名、メンバーがいるのですけれども、待機とかパトロールということだったので、53名かな、即応体制、すぐに集まって動いて身の回りをきちんとする指示を出しまして、活動しておりました。

私も両川地区の避難所が2か所あったので行ったのですが、200名ほど避難されておりまして、やはり、口頭で、津波だから逃げろというようなことをおっしゃっていて、両川地区は二つ河川がありますので、そのリスクを非常に恐れて、3階とか4階とかに上がって、下手をすると泣いている女の子もいたような形でした。私は消防学校で、断層であるとか、このような地震が起きるとどういふ影響があるのかということ、私は1日以上研修を受けているので、両川地区にどういふ被害があるだろうということはある程度予想がついていましたので、今分かりうる範囲のことを各教室に回ってご説明して、中には、とても安心しましたというお話もありました。

ただ、もちろん、そのときも被害が、余震がある可能性もありましたし、現状、避難してくださいということがあつた以上、私からは今帰つていいよというお話は、当然、できませんということで、その中で、本当に怖がっておりましたので、正確な話といひますか、現実としてこういう構造になつていて、この辺りはとてもリスクがあるけれども、ここはこういう形でリスクが少し低減されているような地形ですというような話はさせていただいたところでした。

概ね、両川地区も曾野木ほどではないのですが、道路が割れたり、お店のガラスが破損したりといった方も、避難されている方もその活動に尽力していただきまして、なかなか大変な時期を過ぎまして、反省点はたくさんありますので、それを生かして今後、活動していきたいと思つております。よ

ろしくお願いします。ありがとうございました。

以上です。

#### ○中野会長

ありがとうございます。まちづくり部会でマップを作っていたらいいと思いますけれども、曾野木地区は、以前作ったときに、それこそ曾川切れがありました。その歴史に基づいて、以前、どういうところに川が流れていたかということもそのマップに載っていました。やはり、今回、被害に遭った液状化はもともと川だったところということが分かりましたし、私たちがやっているこういうマップによって、歴史とか地域のことをいろいろ書いてあることが、本当に地域の皆さんにも役立つ内容になっていたのかなど。そういう知識も身につくようなことになっているのだなということを改めて感じました。皆さんの活動と意欲がとても原動力になって、この会をやっておりますので、来年度、もっとそれが生かされるような活動になっていったらいいなと思いますので、よろしく願いいたします。

### 4. 連絡事項・その他

#### ○中野会長

なければ、5の「連絡事項・その他」に行きたいと思います。

事務局からお願いいたします。

#### ○渡邊地域総務課長補佐

事務局より連絡させていただきます。

はじめに、資料もありますが、江南区自治協議会委員懇親会についてご連絡させていただきます。

3月の自治協議会終了後に、懇親会を開催いたします。2月9日金曜日までに出欠をご連絡願います。

次に、産業振興課よりご連絡いたします。

#### ○塚本産業振興課長

産業振興課の塚本です。

今回、通算で第7号となる亀田の郷の縞だよりが発行されましたので、ご紹介させていただきます。表紙には片山商店さん、先覚に訊くは自治協議会の元副会長である佐藤正明さんに出いただきました。

中身は、ご覧になれば分かるのですけれども、紙上で工場見学ツアーとい

う形でご紹介させていただいていますが、まだ正式には決まっていませんけれども、3月辺りにこういったところを巡る企画なども考えておりますので、その際は、皆さん方からもご参加いただければ嬉しいと思います。

併せて、ここに出ていただける方を、自薦他薦問わず募集しております。次号はまだ決まっておきませんので、私を取材してという方がいらっしゃいましたら、私にご連絡いただければ、でかでかにご紹介させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

私からは、以上です。

#### ○渡邊地域総務課長補佐

次に、亀田地区公民館よりご連絡をお願いいたします。

#### ○鈴木亀田地区公民館主任

亀田地区公民館の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

皆様のお手元に、タイトル、キッズのためのはじめての音楽会というチラシをお配りしているかと思います。江南区文化会館で、今年度、2事業のイベントをやるということで、動いております。昨年、皆様にも何度かご案内させていただきました玉川太福の浪曲の独演会、大勢の方にご参加いただきましてありがとうございました。

こちら、第2弾ということで、昨年度、自治協の皆様からもご意見いただいた子育て世代に優しいということで、今回、ゼロ才児から参加できる音楽のコンサートというものを計画しております。また、前回、自由席ということで、かなり入口で皆様にもご不便をかけた方もいらっしゃったのですが、今回、指定席ということで、ゆっくりお越しいただくこともできます。

チケットが、今、江南区文化会館で販売しております。親子チケットと書いてありますが、こちら、大人1名と子ども1名ということで、おじいちゃんとおばあちゃん、お子さんという形で来ていただいてもかまいませんし、大人1名でご参加いただくこともできますので、もし、3月2日、ご都合がよろしければ、ぜひ、ご参加いただければと思います。

私からは、以上です。

#### ○渡邊地域総務課長補佐

次に、健康福祉課よりご連絡をお願いします。

#### ○古泉健康福祉課長

健康福祉課の古泉です。いつもお世話になっております。

まず、昨年 3 月の自治協議会で渡邊委員から意見のありました陣痛タクシーについて、江南区が営業エリアのタクシー会社 4 社に訪問して聞き取り調査を行いましたので、ご報告させていただきたいと思います。

調査した会社は、NK交通、新潟第一交通株式会社、さくら交通株式会社、富士タクシー株式会社。この 4 社を訪問して、聞き取り調査を行ったということです。どちらの会社も子育て支援に本当に理解がありまして、できることをすでに実施しているというお話をいただきました。それで、私どもの区づくり事業の江南区の子育て応援団にも登録していただいた運転手も何人かおられました。

今回、ママサポートタクシーのチラシがある新潟第一交通株式会社の 2 種類のチラシを机上配付させていただきました。まず、真ん中にママサポートタクシーと大きく書いてあるチラシをご覧くださいと思います。ママサポートタクシーは、事前登録しておく簡単にタクシーを呼ぶことができます。会社によっては陣痛タクシーとも呼んでいます。乗務員は、助産師からの研修を受けているとのこと。中ほど、少し下のところに、サービスの特徴ということでいくつか書いてありますが、防水シートやバスタオルを用意しているということや、ご自宅、かかりつけ医を事前に登録いたしますので、スムーズに配車ができ、道案内も不要ということです。また、24 時間 365 日対応していますと。料金は通常のタクシー料金のみということが書いてあります。

第一タクシーだけではなく、ほかの 3 社も、特にサービスとして PR はしていないのですが、タクシーにブルーシートを常備するなど、出産される方にどの会社も備えているということを知りました。

もう一枚のチラシをご覧ください。上のほうが青色の面をご覧くださいと思います。中ほど、お買い物代行や薬の購入代行というようなサービスも行っているとのこと。そのまた裏面をご覧くださいと思います。子どもサポートタクシー、あと、お墓参りサポートなどのサービスも行っているということです。

知らない方もたくさんいると思いますので、地域の中で必要な方がおられましたら、ぜひ、情報をお知らせいただきたいと思います。チラシの予備がありますので、必要な方は、1 階の健康福祉課 13 番窓口の児童福祉係にお越しいただければありがたいと思います。



### ○渡邊地域総務課長補佐

次に、部会の開催についてご連絡いたします。この後、本会議終了後に第10回目の部会を開催いたします。まちづくり部会は入札室、環境・教育部会は301会議室、安心安全部会はこの会場でお願いいたします。

お手数ですが、移動の際はご自分の名立てをお持ちになって移動をお願いします。

事務局からは以上です。

### ○渡邊委員

すみません、1点だけ。これはPRしていないと、今、古泉課長からお聞きしたのですけれども、健診会場とか産婦人科とかに少しずつ置いてもらえるということは可能なのですか。多分、知らない方も多いと思うので、せっかくいい、私は思っていたのですけれども。

### ○古泉健康福祉課長

PRしていない3社がありますということで、第一タクシーは自分たちでこういうチラシを作って一生懸命やっているということですが、ほかのところは、敢えてこういうチラシなどは作ってPRしていないというお話を、今、させていただきました。

今いただいた、例えば、情報が行き届いていないという話であれば、またその辺は相談させていただいて、必要な場所に設置することによって、より活用されるということであれば、またいろいろなタクシー会社、個人的なところがいろいろありますので、その辺も検討しながら、またいい形で周知していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### ○渡邊委員

ありがとうございます。

### ○田口委員

今の質問に追加で質問してもいいですか。健康福祉課には、こちらのチラシは棚置きとかはされているのですか。

### ○古泉健康福祉課長

今のところは、しておりません。

### ○田口委員

やはり、会社に。

### ○古泉健康福祉課長

そうですね。今ほど言ったように、一つの会社のチラシですので、そこら辺、平等に扱わなければいけないかなということがありますので。今、皆様からご意見をいただきましたので、そのご意見を反映して、また検討させていただきます。

#### ○田口委員

併せて、今すぐに返事は求めないですけれども、前回やその前の特色ある区づくり予算について、この議会で検討したりという話があったと思うのですけれども、区づくり予算の中では取り扱わなくなった福祉だとか防災に関して、区づくり予算の枠とは別に予算を設けて実施していくということだったと思うのですけれども、江南区として、産前産後ケアの部分だったりそういうところで予算がどのようについていたりとか、どのように、今後、事業を考えているのかというお話をお聞かせ願えればと思います。

#### ○坂井区長

どうして防災とか福祉が区づくりから飛び出したかという、福祉や防災というのは区単位ではなくて全市的に同じようなサービスの提供が必要だろうということで、飛び出したというか持って行って、持って行かれたと言うとあれですけれども、その分、区の予算は増えたという形になります。

産前産後につきましては、今、いろいろな制度を本庁のほうで組み立てて、これから議会に出していく段階ですので、改めてそこが分かりましたら公表になると思いますので、そこは我々も見て、お伝えできればと思います。

#### ○田口委員

前々回、副市長がいらっしゃったときに、今おっしゃったように、区で特色があってはいけないから全市的にやっという動きの中にはあるけれども、新潟市の組織として、まだそれを統轄するような組織はまだ存在していないというお話があったり、区づくり予算の中でその部分にお金を使うことによって、本来使われるべき特色ある区づくりのための予算が削減されてしまうのが問題だということで分かれたというお話だったので、区づくり予算の枠ではないけれども、江南区として事業を考えていくことも必要なのかと、副市長のお話を伺ってから感じていて、どのタイミングでどう伝えたらいいか分からないような状況だったので、今の陣痛タクシーのこともその一つになるのかなと思ひまして、お話しさせていただきました。

#### ○坂井区長

ありがとうございます。昨年度から、そのような今のご意見、抜いてと言うとあれですけれども、抜くという制度設計が始まったところで、今、かといってふれあいまつりみたいに亀田駅のところには福祉の方々がとても集まっているのに、それを区の特徴として我々としてはとらえたいのだけれどもそこもだめと言うと、ちょっと違うよねという話も出てくると思いますので、どこまでを線引きするのかというのは、今、話し合っている最中ですので、そこは区の特徴としてそういったことをとらえられるように、我々も働きかけていきたいと思っています。

## 5. 閉会

### ○間島委員

お疲れさまでした。本日予定されていましたが、これで終了となりましたので、閉会いたします。

次回、令和5年度第11回目の自治協議会は、2月29日木曜日の午後1時半からの開です。

会場は、通常と異なりまして、区役所隣の亀田健康センター2階、集団検診室となります。よろしくお願いいたします。

お疲れさまでした。